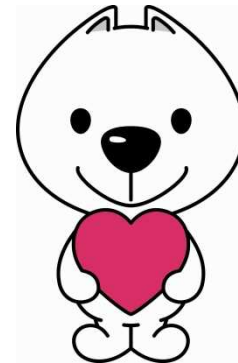


新型コロナウイルス感染症 県内発生と対応状況・その2

令和2年6月4日

和歌山県福祉保健部技監
野尻 孝子



県内の新型コロナウイルス感染対策

● 感染予防対策方針

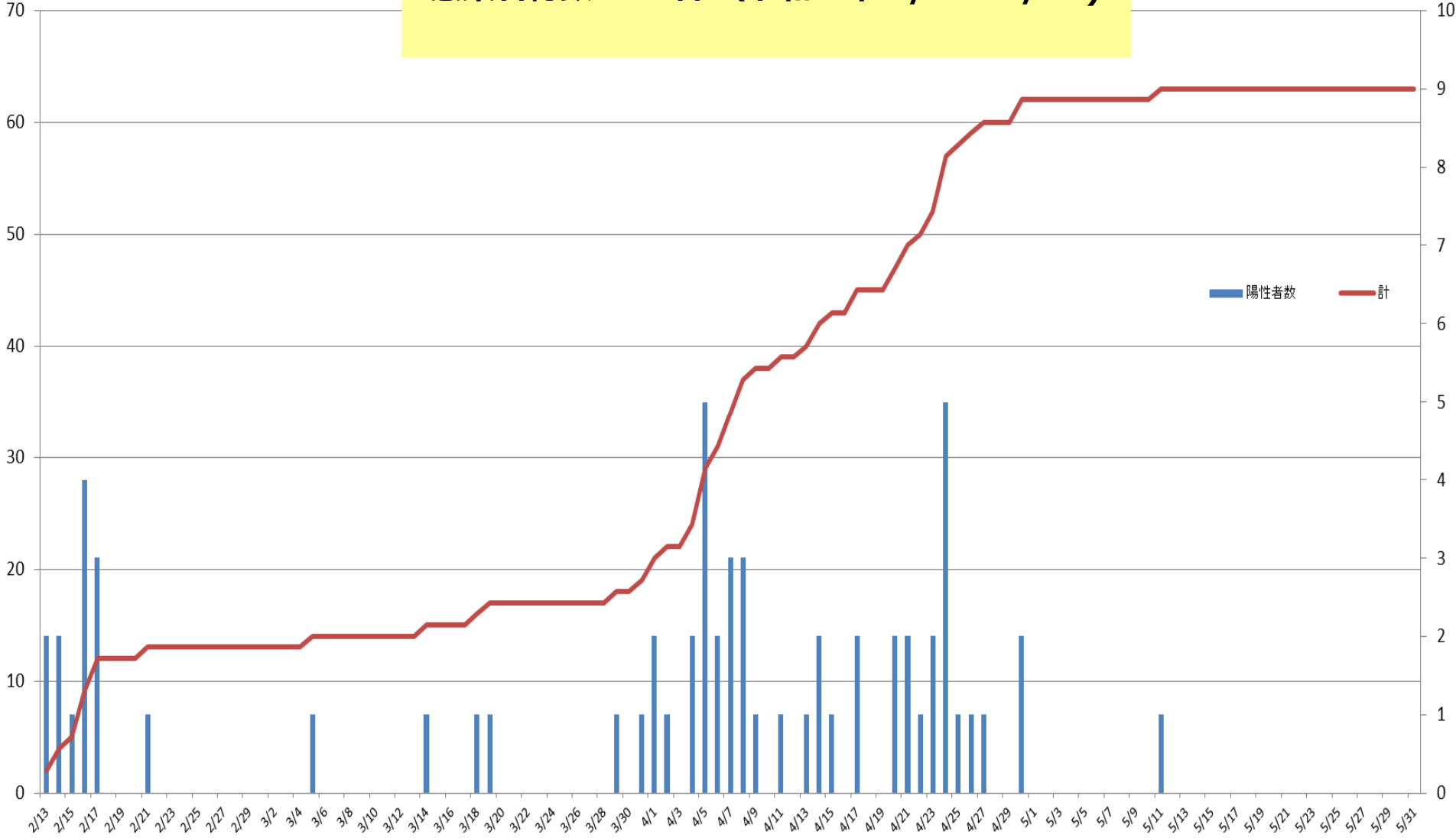
- ① 早期発見 肺炎等の探知システム、濃厚接触者全員 P C R 検査
- ② 早期介入 積極的疫学調査と分析による介入
- ③ 入院体制確保 一般病床の確保
- ④ 情報発信 知事記者会見等

● これまでの主な感染者のクラスター

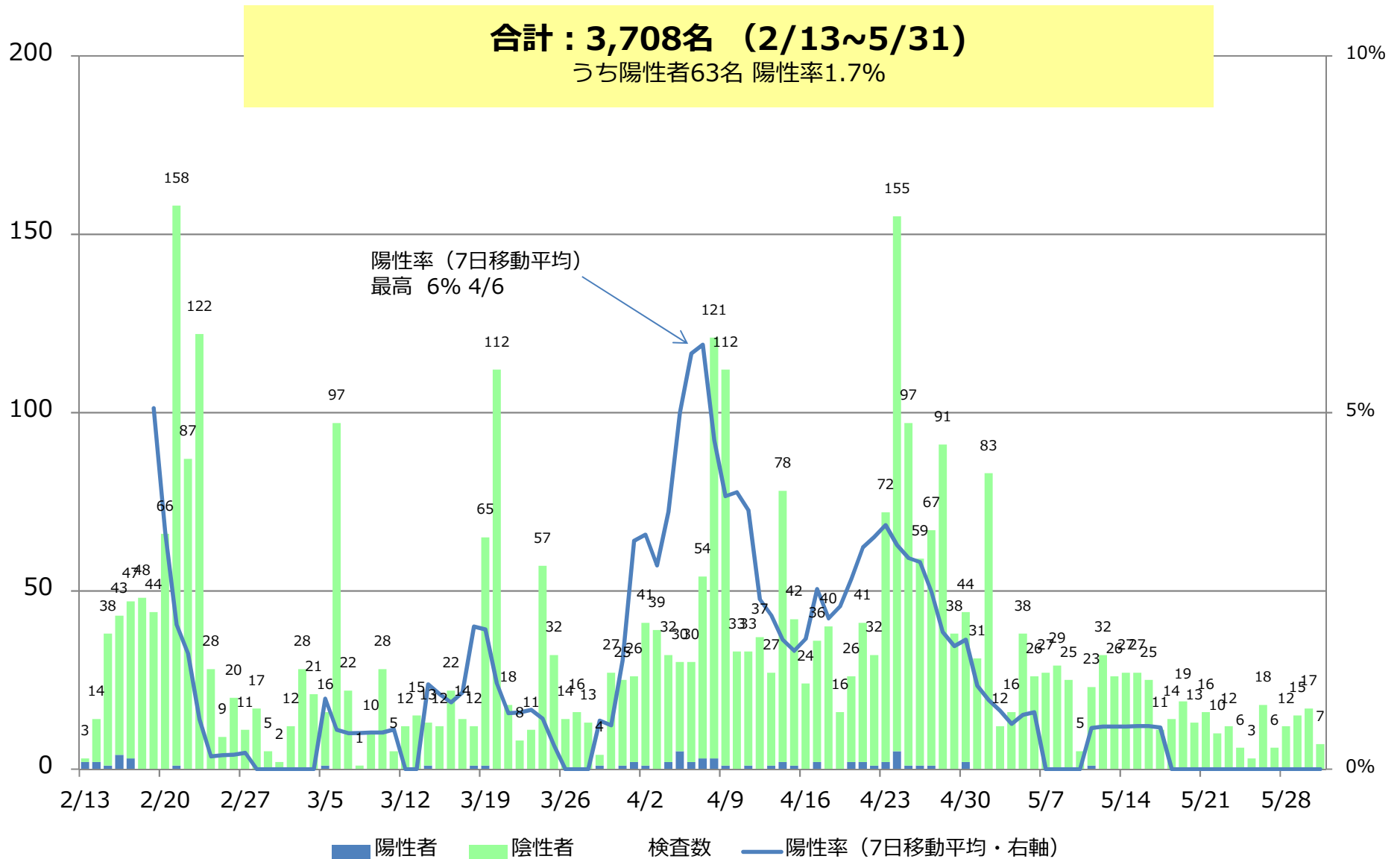
- ① 済生会有田病院 令和2年2月13日～（5名）
- ② 打田中学校 令和2年4月 6日～（8名）
- ③ デイサービスセンター 令和2年4月22日～（5名）

県内の新型コロナウイルス感染**確認者数**の推移

感染者総数 63名 (令和2年2/13~5/31)

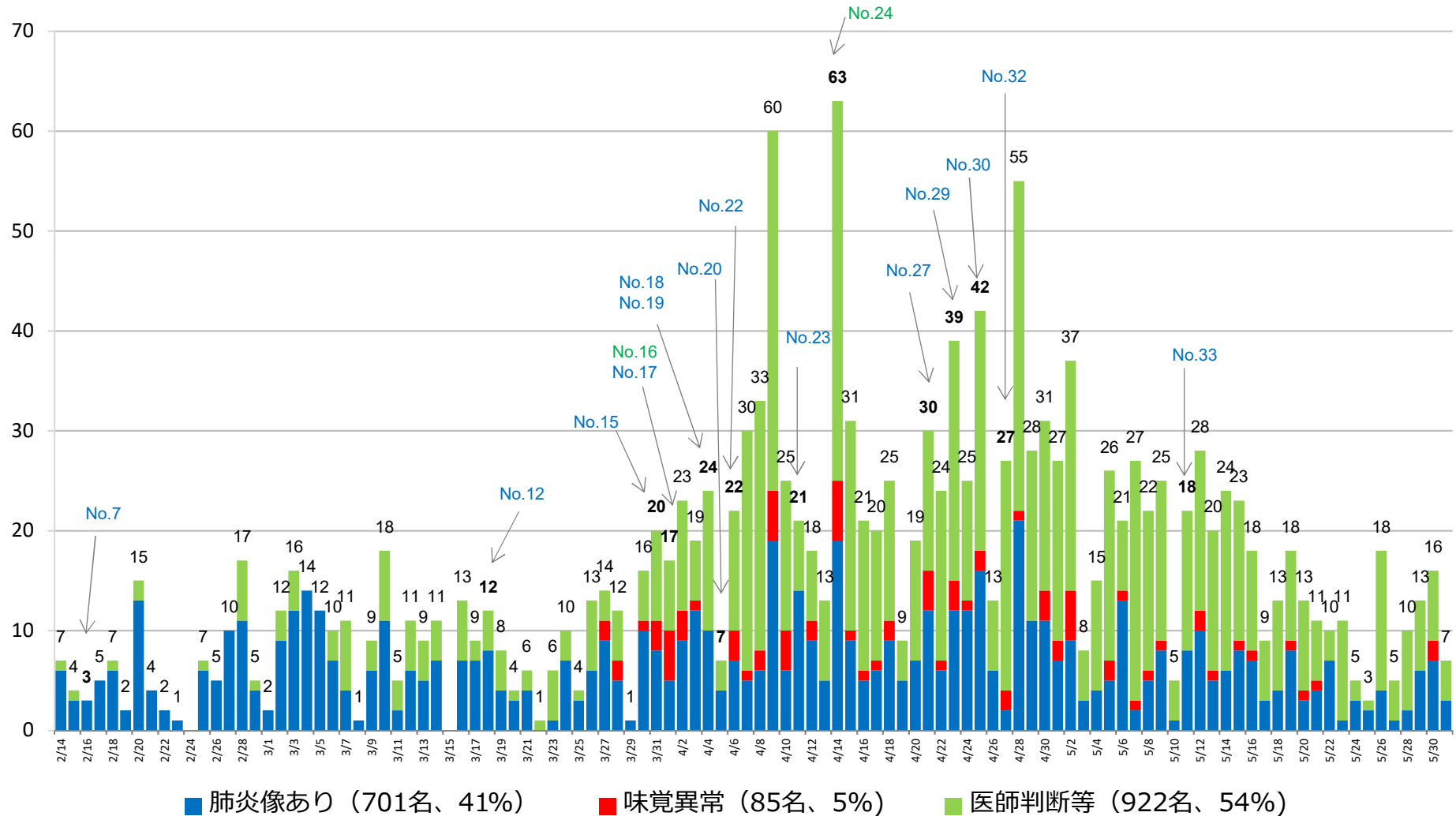


県内の新型コロナウイルスPCR検査数と陽性率の推移



県内の肺炎患者の新型コロナウイルス感染者発生状況

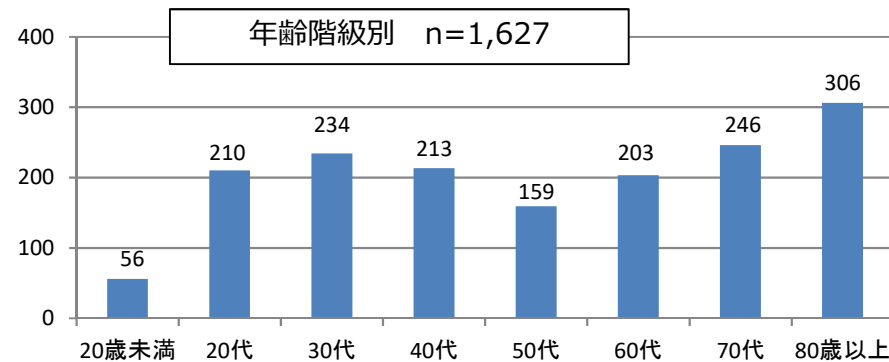
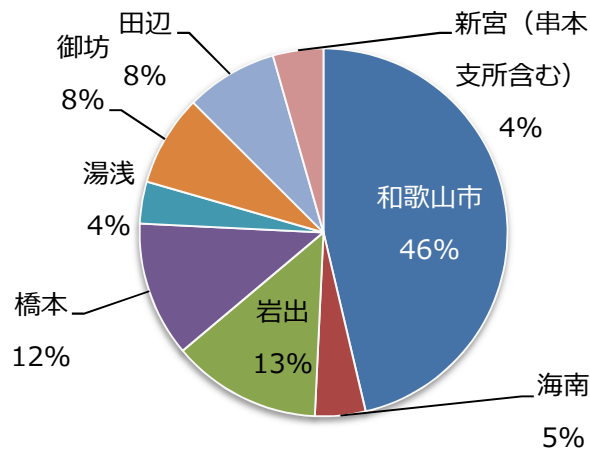
累計**1,708**人（重複含まず） うち陽性者16名（0.9%）



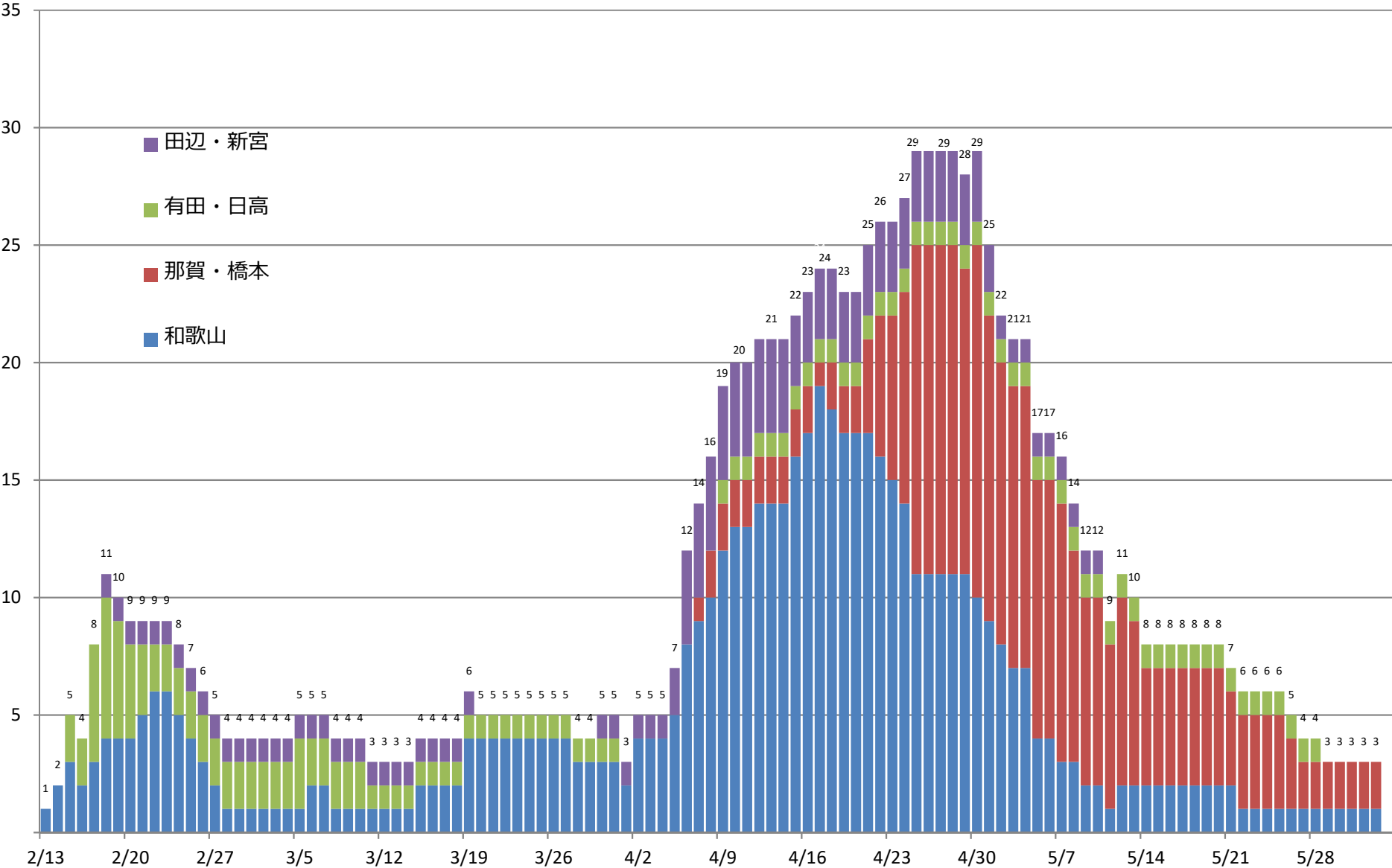
原因不明肺炎の状況（報告医療機関別）

HC	区分	2月	3月	4月	5月	合計
和歌山市		42	140	360	249	791
	① 感染症指定医療機関	13	15	32	22	82
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）	18	44	180	123	365
	③ 一般病院	8	41	51	17	117
	④ 診療所等	3	40	97	87	227
海南		6	17	39	14	76
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）	1	1	16	8	26
	③ 一般病院	5	12	13	4	34
	④ 診療所		4	10	2	16
岩出		13	30	109	72	224
	① 感染症指定医療機関	8	19	62	40	129
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）		3	28	27	58
	③ 一般病院	3	1	9	2	15
	④ 診療所	2	7	10	3	22
橋本		8	28	100	67	203
	① 感染症指定医療機関	4	6	30	27	67
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）	3	16	53	35	107
	③ 一般病院		1		5	6
	④ 診療所	1	5	17		23

HC	区分	2月	3月	4月	5月	合計
湯浅		8	17	29	9	63
	① 感染症指定医療機関	5	12	25	9	51
	③ 一般病院	3	4	3		10
	④ 診療所		1	1		2
御坊		2	21	72	42	137
	① 感染症指定医療機関	2	8	41	24	75
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）		5	31	16	52
田辺		13	29	68	28	138
	① 感染症指定医療機関	3	12	24	8	47
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）	6	10	14	6	36
	③ 一般病院	2		8	2	12
新宮（串本支所を含む）		2	8	37	29	76
	① 感染症指定医療機関		1	5	6	12
	③ 一般病院	1	4	23	6	34
	④ 診療所	1	3	9	17	30
合計		94	290	814	510	1,708
	① 感染症指定医療機関	35	73	219	136	463
	② 帰国者・接触者外来設置医療機関（①を除く）	28	79	322	215	644
	③ 一般病院	22	71	107	37	237
	④ 診療所	9	67	166	122	364



県内の新型コロナウイルス感染者の地域別入院者数の推移



県内発生例の状況 ①症状

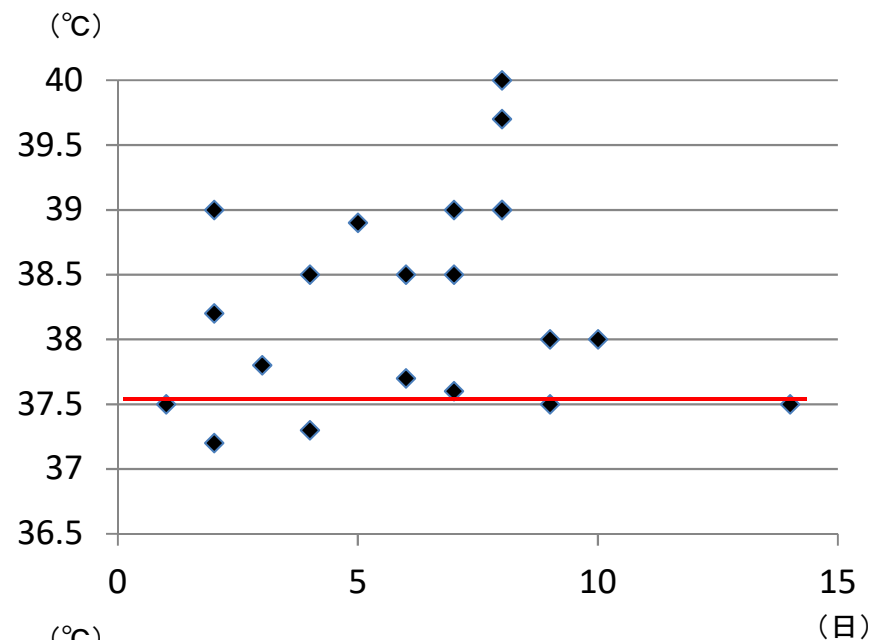
項目	人数（総数63）	%
性別		
男性	36人	57.1%
女性	27人	42.9%
年齢		
中央値		52歳
60歳以上割合	18人	28.6%
20歳未満割合	6人	9.5%
最低年齢・最高年齢		最低 0歳 最高 102歳
症状		
肺炎	40人	63.5%
発熱	54人	85.7%
咳	38人	60.3%
咽頭痛	16人	25.4%
息苦しさ	8人	12.7%
胸痛	3人	4.8%
倦怠感	29人	46.0%
頭痛	17人	27.0%
食欲低下	4人	6.3%
下痢	12人	19.0%
味覚異常	12人	19.0%
嗅覚異常	9人	14.3%

県内発生例の状況

②発熱：発症から診断まで

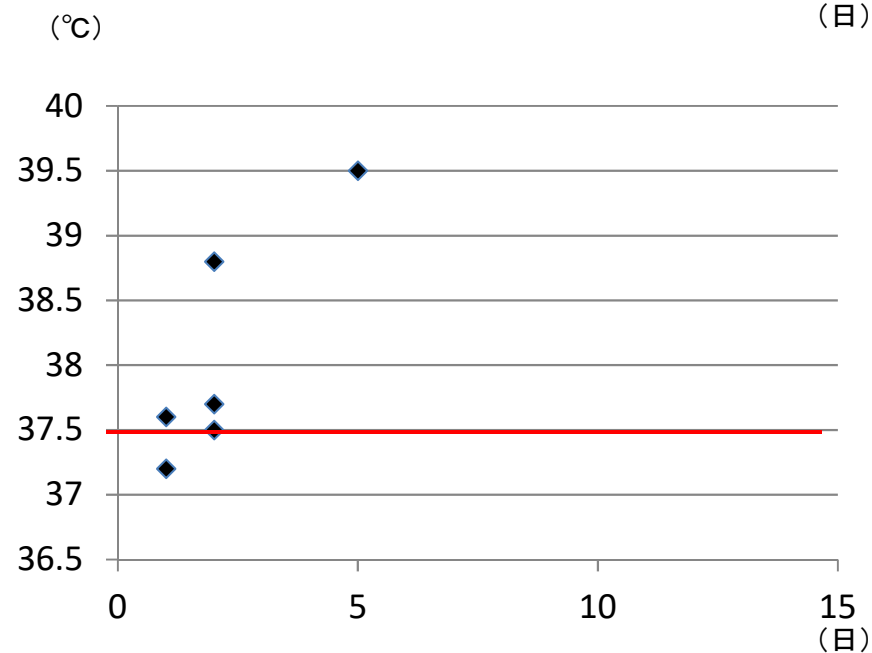
①発症から診断まで：肺炎の診断を受けた感染者

	1-5日	6-10日	11日以上	発熱なし	計
40℃台前半		1			1
39℃台後半		1			1
39℃台前半	1	3			4
38℃台後半	2	2			4
38℃台前半	1	2			3
37℃台後半	2	3	1		6
37℃台前半	2				2
発熱症状なし				1	1
不明				1	1
計	8	12	1	2	23



②発症から診断まで：肺炎無しの感染者

	1-5日	6-10日	11日以上	発熱なし	計
40℃台前半					0
39℃台後半	1				1
39℃台前半					0
38℃台後半	1				1
38℃台前半					0
37℃台後半	3				3
37℃台前半	1				1
発熱症状なし				1	1
不明					0
計	6	0	0	1	7



※発症後、陽性判明までの期間において、37℃以上の発熱が記録された最初の日から最後の日までを有熱期間とみなす。

県内発生例の状況 ③重症度

【重症度と年代の関係】

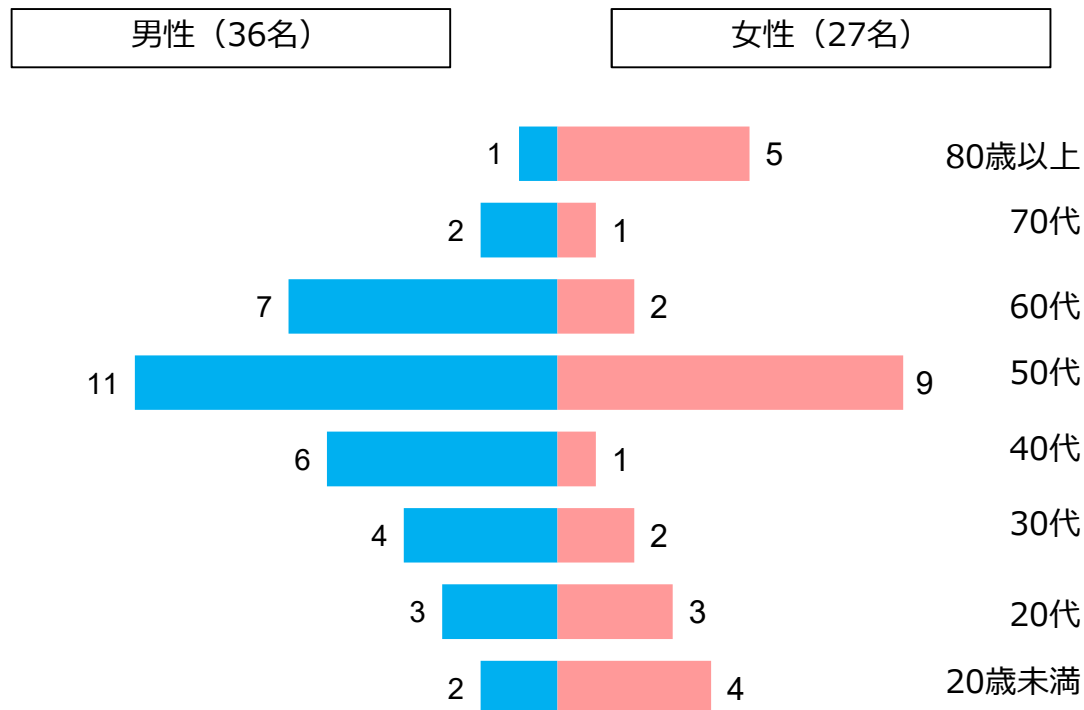
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
無症状	2				1			1	4
軽症～中等症	4	6	6	7	17	7	1	3	51
重症（酸素）					1		1	1	3
重篤					1	1			2
死亡						1	1	1	3
合計	6	6	6	7	20	9	3	6	63

【重症度と肺炎の有無】

	肺炎なし	肺炎あり
無症状	4	
軽症～中等症	19	32
重症（酸素）		3
重篤		2
死亡		3
合計	23	40

【重症度と基礎疾患の有無】

	基礎疾患なし	基礎疾患あり
無症状	3	1
軽症～中等症	29	22
重症（酸素）	1	2
重篤	1	1
死亡	1	2
合計	35	28



県内発生例の状況

④重症者の経過

酸素投与が必要となった7例

番号	年代	性別	基礎疾患 (既往歴含む)	発症から入院 までの日数	入院までの症状
No.5	70代	男性	前立腺癌Op 7-8年前	5	感冒症状、発熱37.9℃、嘔気、胃もたれ
No.20	60代	男性	基礎疾患なし	8	発熱39℃、胸焼け、咳、発声困難、呼吸困難
No.22	50代	男性	喘息、高血圧	2	発熱39℃、倦怠感
No.22-2	50代	男性	糖尿病	2	発熱38.5℃、倦怠感、咽頭痛、頭痛
No.25	70代	女性	基礎疾患なし	18	咳、食欲低下
No.27-2	80代	女性	基礎疾患なし	3	発熱37℃、呼吸困難、食欲低下、胃痛
No.29	90代	女性	大腿骨頸部骨折手術	1	発熱37.5℃、胸痛

県内発生例の状況

⑤入院期間

①入院から退院までの日数（入院日・退院日を含む）

最小値	平均値	中央値	最頻値	最大値
5	20.4	17.5	17	56

（単位：日）

死亡事例3例を除く、全60例

②陰性1回目までの日数

	最小値	平均値	中央値	最頻値	最大値
発症から	6	19.0	17	17	47
入院から	1	13.6	12	15	33

（単位：日）

無症状事例2例、死亡事例2例を除く、全59例

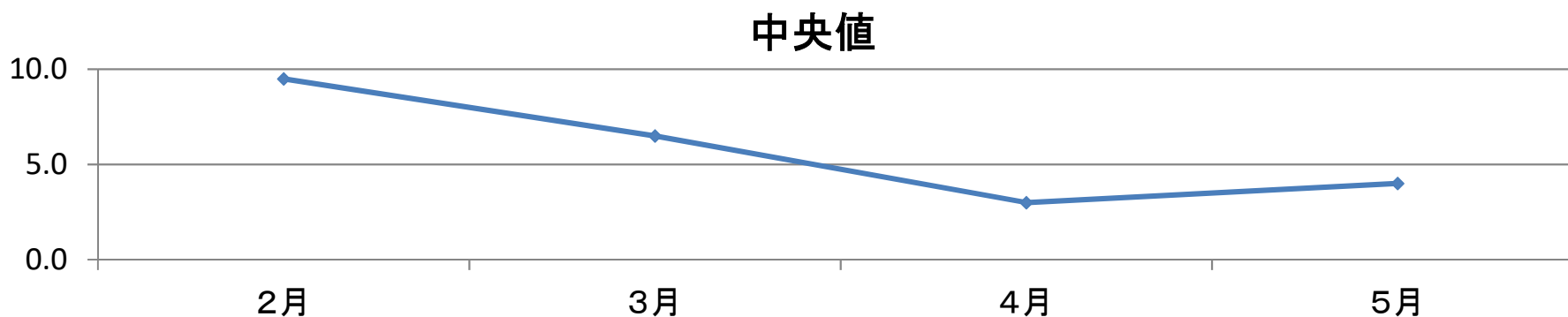
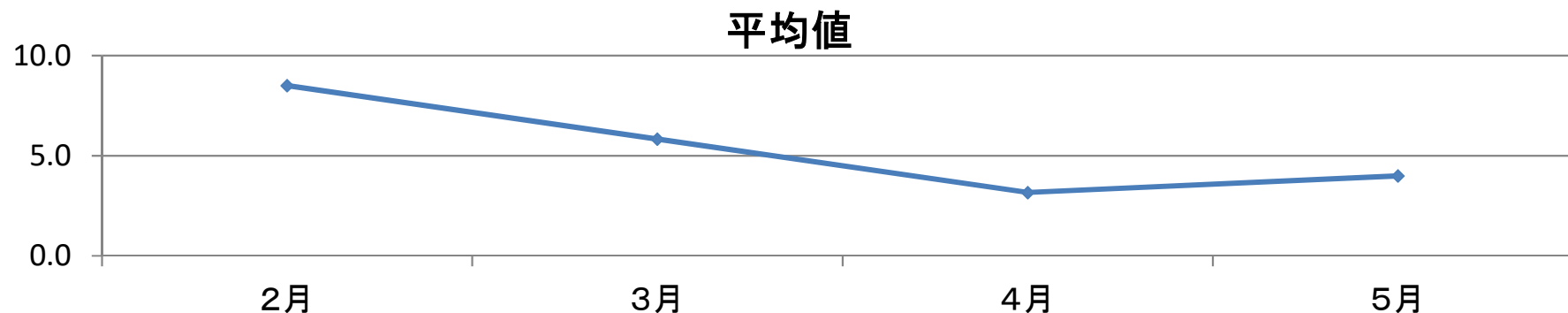
死亡事例2例を除く、全61例

県内発生例の状況 ⑥発症からPCR陽性までの期間の推移

(単位:日)

	陽性者数	平均	最小	最大	中央値	最頻値
2月	13	8.5	-1	19	9.5	1
3月	6	5.8	1	9	6.5	-
4月	43	3.2	-9	17	3	7
5月	1	4.0	4	4	4	4

※ 負の値は、陽性判明後の発症をあらわす。 ※ 無症状事例2例及び死亡後判明事例1例は、陽性者数にのみ反映



県内発生例の状況 ⑦発症から入院までの期間の推移

(和歌山県)

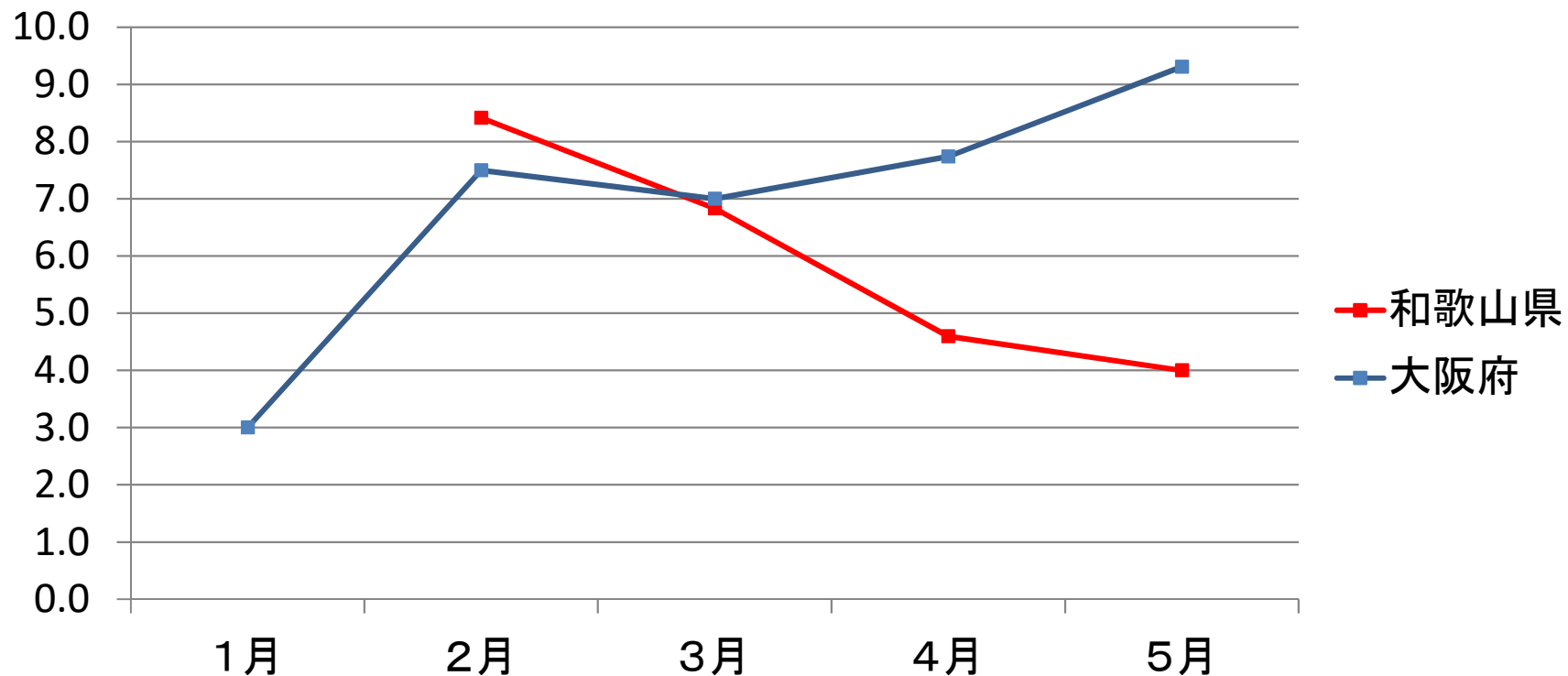
	陽性者数	平均	最小	最大	中央値	最頻値
1月	0人	-	-	-	-	-
2月	13人	8.4	0	20	8.5	2
3月	6人	6.8	2	10	7.5	-
4月	43人	3.8	-8	17	3	2
5月	1人	4.0	4	4	4	4

※ 負の数は、入院後の発症をあらわす

(大阪府)

	陽性者数	平均	最小	最大	中央値	最頻値
1月	1人	3.0	3	3	3	3
2月	3人	7.5	7	8	7.5	-
3月	240人	7.0	1	19	6	5
4月	1,381人	7.7	0	37	7	5
5月	157人	9.3	1	54	7	6

※ 大阪府については、公表日を入院日とみなして算出



濃厚接触者等の検査結果（二次・三次感染）

当初陽性者	陽性者／濃厚接触者	陽性者の属性
No.1（医師）	0名／4名（0%）	
No.2（医師）	2名／6名（33.3%）	同居家族（妻、子供）
No.5（入院患者）	1名／33名（3.0%）	同室者（No.8）
No.6（入院患者）	4名／77名（5.2%）	同居家族（母、妻、兄弟）、同僚
No.7	0名／25名（0%）	
No.9（DMAT）	0名／2名（0%）	
No.10（ライブハウス）	0名／98名（0%）	
（大阪の患者の接触者関係）	1名／101名（1%）	濃厚接触者（No.11）
No.12（市役所関係）	1名／152名（0.7%）	同フロアの市役所職員（No.13）
No.14（大学生）	0名／34名（0%）	
No.16（20代女性）	0名／2名（0%）	
No.17（自営業者）	2名／31名（6.5%）	同居家族、別居家族
No.18（開業医）	2名／46名（4.3%）	同居家族（妻、息子）

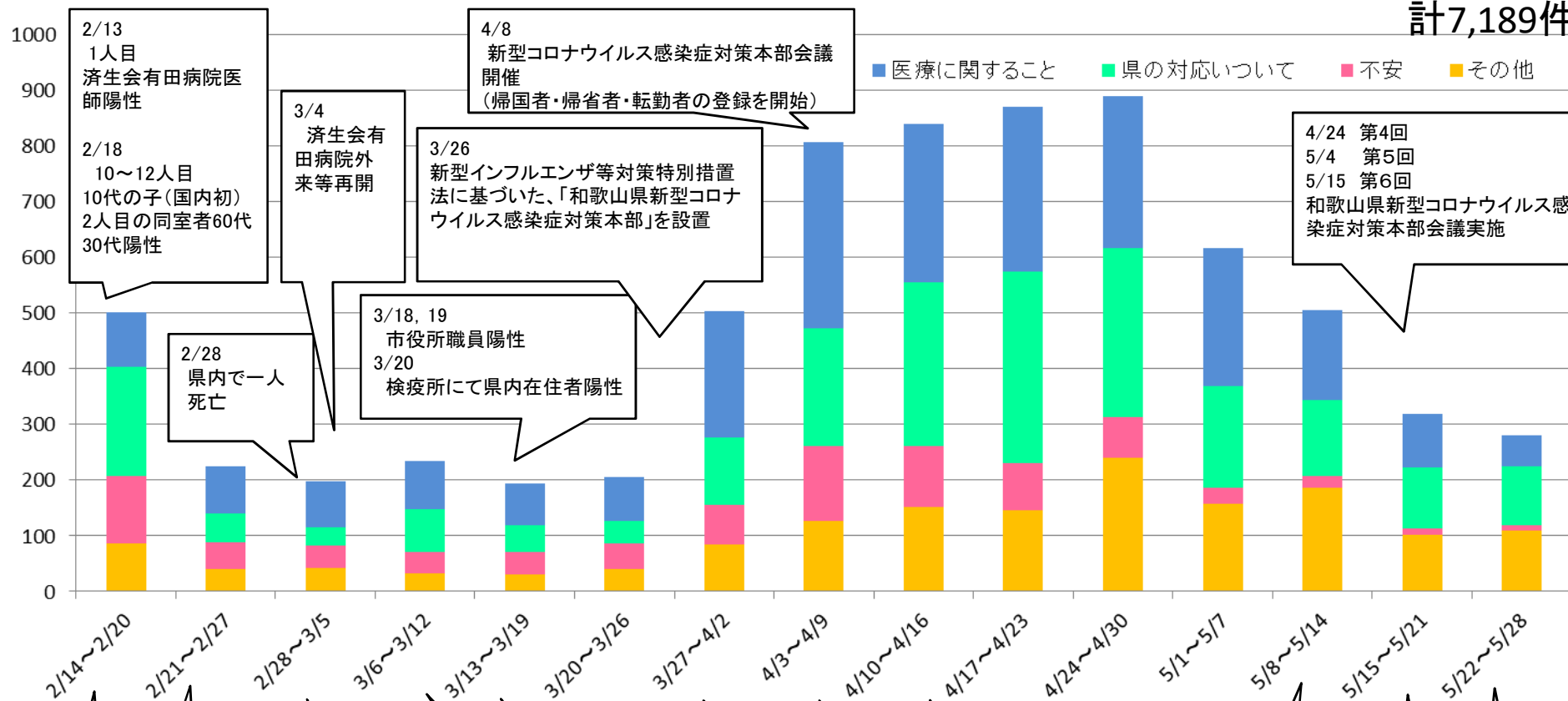
当初陽性者	陽性者／濃厚接触者	陽性者の属性
No.20（コンビニ勤務）	1名／17名（5.9%）	同居家族（妻）
No.22（公立学校勤務）	14名／93名（15.1%）	同僚7名、家族6名 *大阪検査分含む うち家族5名は3次感染
No.23（自営業者）	1名／9名（11.1%）	従業員
No.24（会社員）	0名／5名（0%）	
No.26（看護師）	0名／2名（0%）	
No.27（デイサービス）	4名／147名（2.7%）	同僚1名、利用者3名
No.28（他県在住者）	0名／2名（0%）	
No.29（入院患者）	3名／176名（1.7%）	同室者2名、同居家族2名（息子夫婦）
No.30（看護師）	1名／28名（3.6%）	同居家族（夫）
No.31（死亡者）	0名／11名（0%）	
No.32（看護師）	2名／7名（28.6%）	同居家族（母親、姉妹）
No.33（自営業者）	0名／3名（0%）	
合計	39名／1,120名（3.5%）	

発症前の接触による二次感染

	関係	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
No.22		←→		発症	PCR (+)													
No.22-1	息子					発症	PCR (+)											
No.22-2	同僚	←→			発症	PCR (+)												
No.22-10	No.22の妻						PCR (-)								発症	PCR (+)		
No.22-11	No.22の娘						PCR (-)						発症	PCR (-)			PCR (-)	
No.22-3	同僚	←→			発症	PCR (+)												
No.22-4	同僚	←→					PCR (+)		←→						発症			
No.22-5	同僚	←→					PCR (+)		←→	発症								
No.22-6	同僚	←→					PCR (+)		←→		発症							
No.22-7	No.22-6の妻								PCR (+)	←→	発症							
No.22-8	No.22-6の娘 (乳児)								PCR (-)					PCR (+)				
No.22-9								PCR (-)							発症			
大阪陽性		←→				発症	PCR (+)											
	大阪の妻						発症						PCR (+)					

県庁専用相談窓口相談件数

計7,189件



2/13
1人目
済生会有田病院医
師陽性

2/18
10~12人目
10代の子(国内初)
2人目の同室者60代
30代陽性

4/8
新型コロナウイルス感染症対策本部会議
開催
(帰国者・帰省者・転勤者の登録を開始)

3/4
済生会有
田病院外
来等再開

3/26
新型インフルエンザ等対策特別措置
法に基づいた、「和歌山県新型コロナ
ウイルス感染症対策本部」を設置

2/28
県内で一人
死亡

3/18, 19
市役所職員陽性
3/20
検疫所にて県内在住者陽性

4/24 第4回
5/4 第5回
5/15 第6回
和歌山県新型コロナウイルス感
染症対策本部会議実施

2/20
国内初感
染者1人死
亡

2/26
政府、今後2週
間のイベント延
期・中止を要請

2/28
全国小中高
校・特別支援
学校の一斉休
校、文科省が
正式要請

3/12
WHOが
「パンデミック」を宣言

3/13
新型コロナ
対策の特
措法が成
立

3/26
新型コロナウ
イルス感染症
対策本部を設
置

4/7
7都道府
県を対象
に緊急事
態宣言を
発令

4/16
全国を対象に
緊急事態宣
言を発令

5/14
39県の緊急
事態宣言解
除を決定

5/21
大阪・京
都・兵庫の
緊急事態
宣言解除
を決定

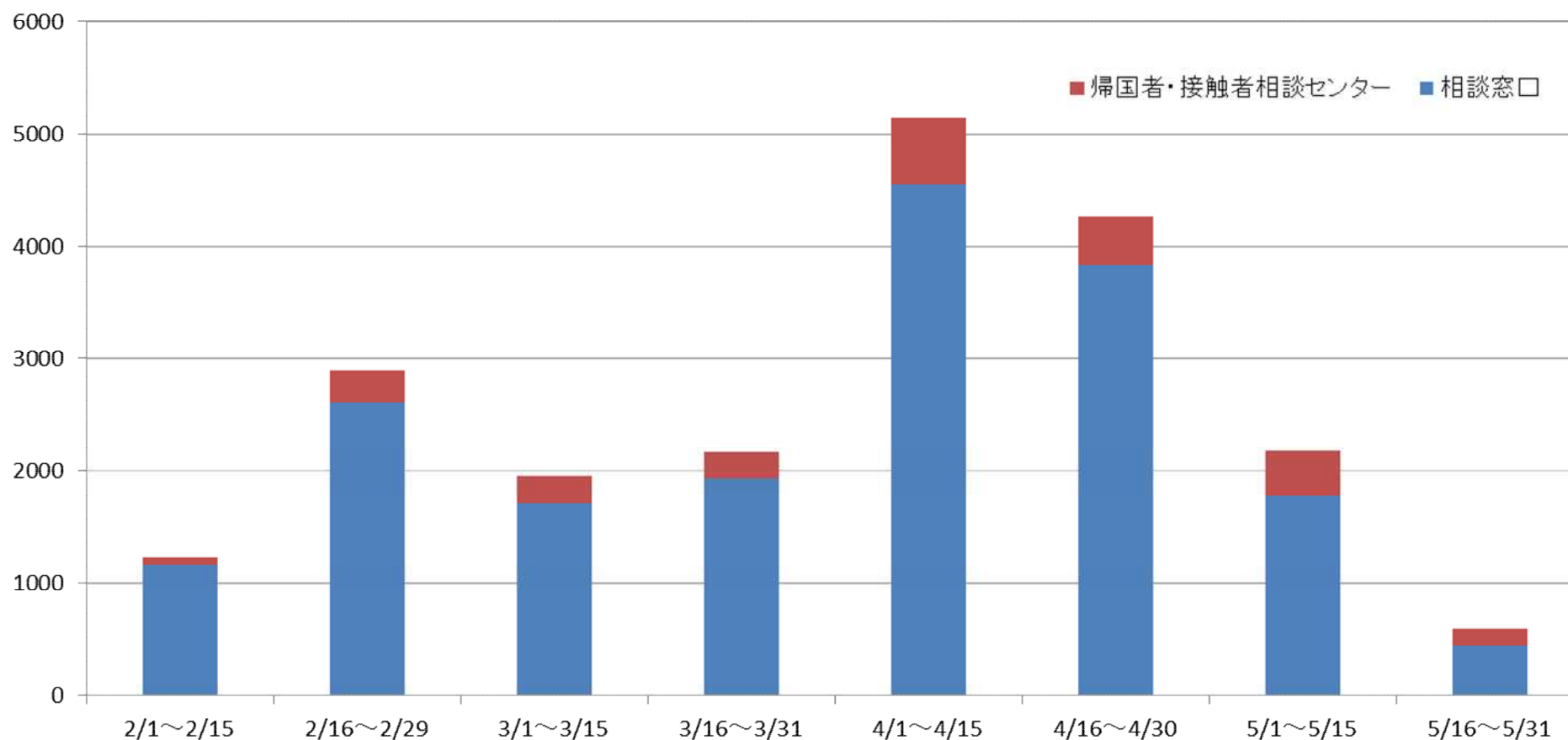
5/25
5都道県の
緊急事態
宣言解除
を決定

国の動向

保健所 専用相談窓口及び 帰国者・接触者相談センター相談件数

相談窓口 : 18,012件

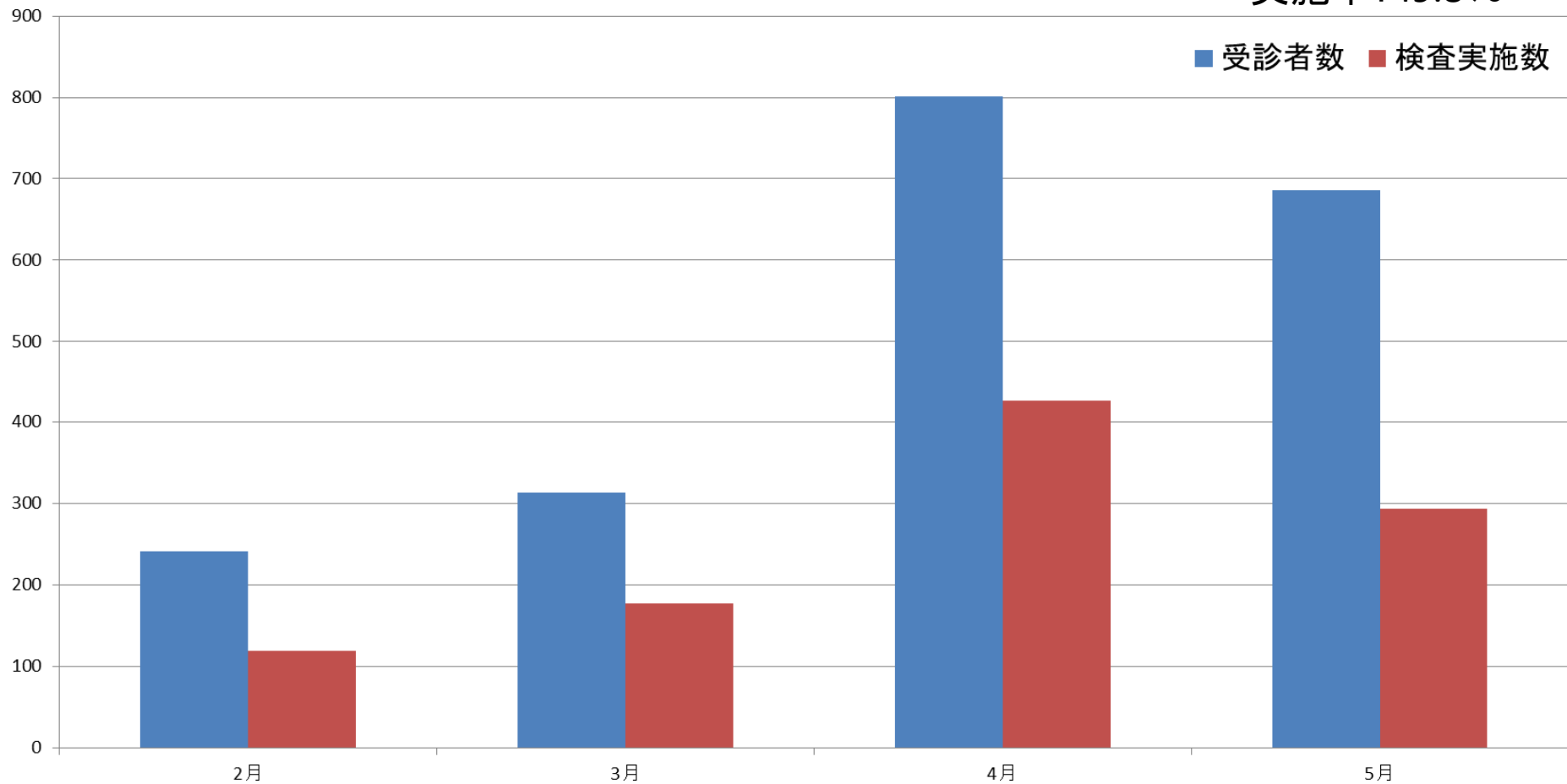
帰国者・接触者相談センター : 2,403件



帰国者・接触者外来 受診者数及び検査実施数

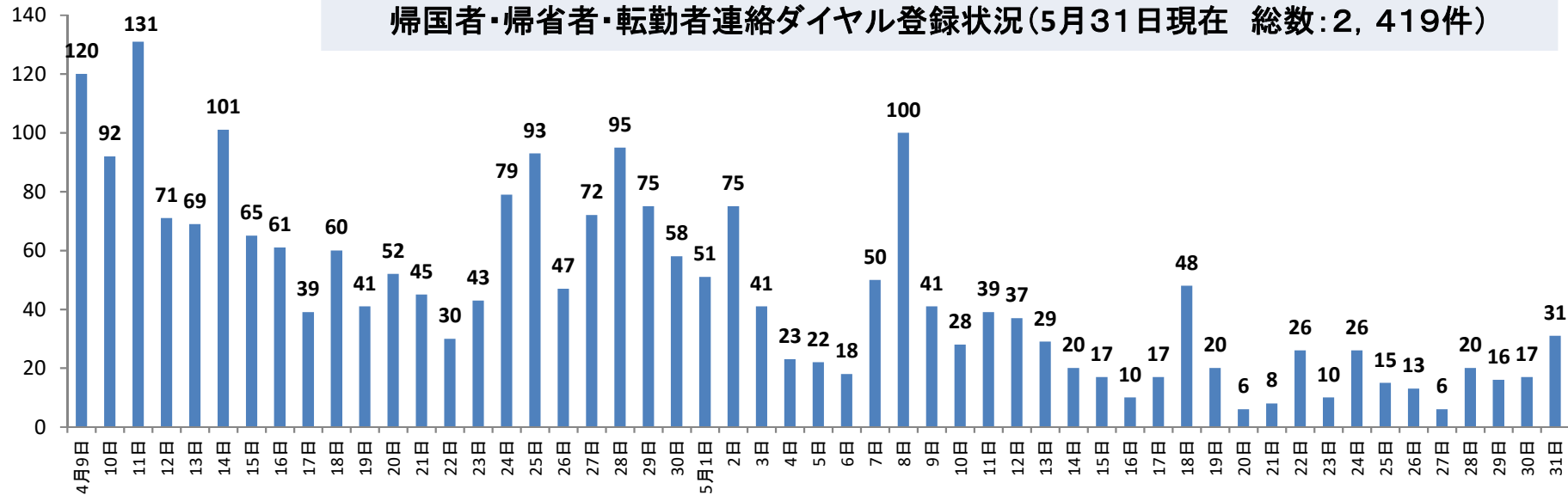
受診者数 : 2,042人
検査実施数 : 1,017人

実施率 : 49.8%

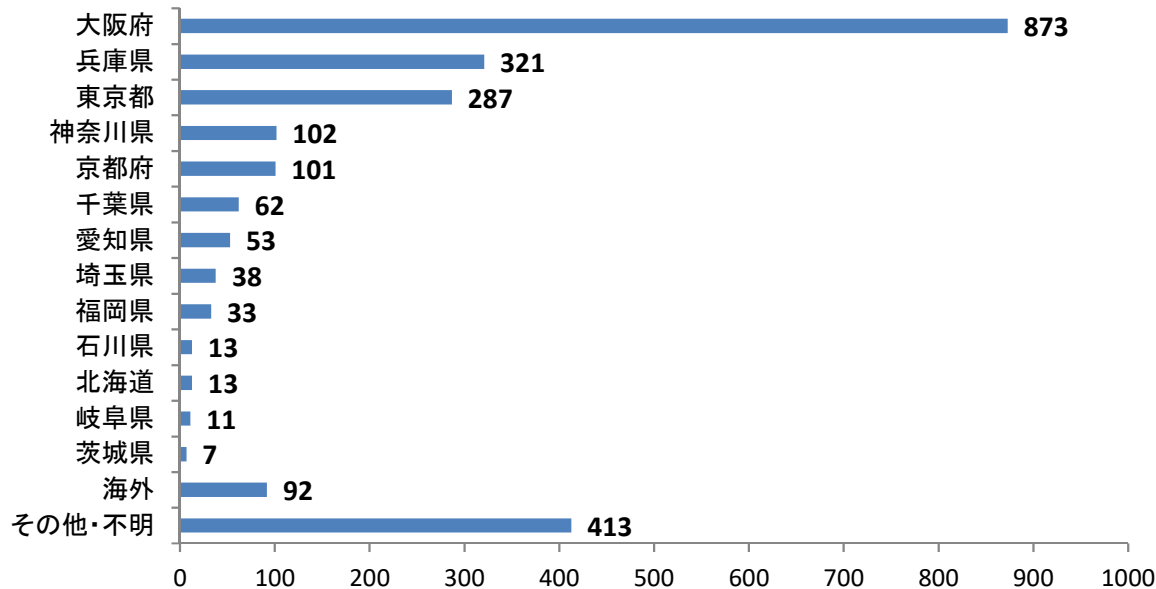


帰国者・帰省者等登録状況

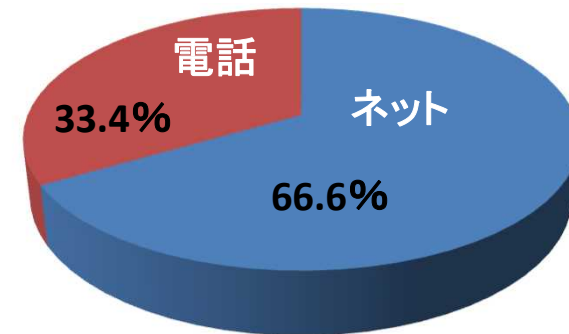
帰国者・帰省者・転勤者連絡ダイヤル登録状況(5月31日現在 総数:2,419件)



地域別登録件数



登録割合



新型コロナウイルス感染症患者のイムノクロマト法検査結果

I g G 抗体 (+)	10													
	9													
8	発症2週以降からIgG陽性例出現													
7														
6			27の2											
5			23の1											
4			22の10											
3		★30の1	6の3											
2		29	6の1		22の11						6の3	7	6の1	
1		30	6	29	21			22の2	10	8	6の2	2の1	2	
発症からの日数		1週 (発症前～ 7日)	2週 (～14日)	3週 (～21日)	4週 (～28日)	5週 (～35日)	6週 (42日以内)	7週 (～49日)	8週 (～56日)	9週 (～63日)	10週 (～70日)	11週 (～77日)	12週 (～84日)	13週 (～91日)
I g G 抗体 (-)	1	6の2	2									★2の2		
	2	22の4	5											
	3	24	10											
	4	22の11												
	5	26												
	6	29												
	7	★30の1												
	8													
	9													
	10													

使用キット：新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症 抗体検査試薬キット

RF-NC001 (IgM)、RF-NC002 (IgG) (KURABO)

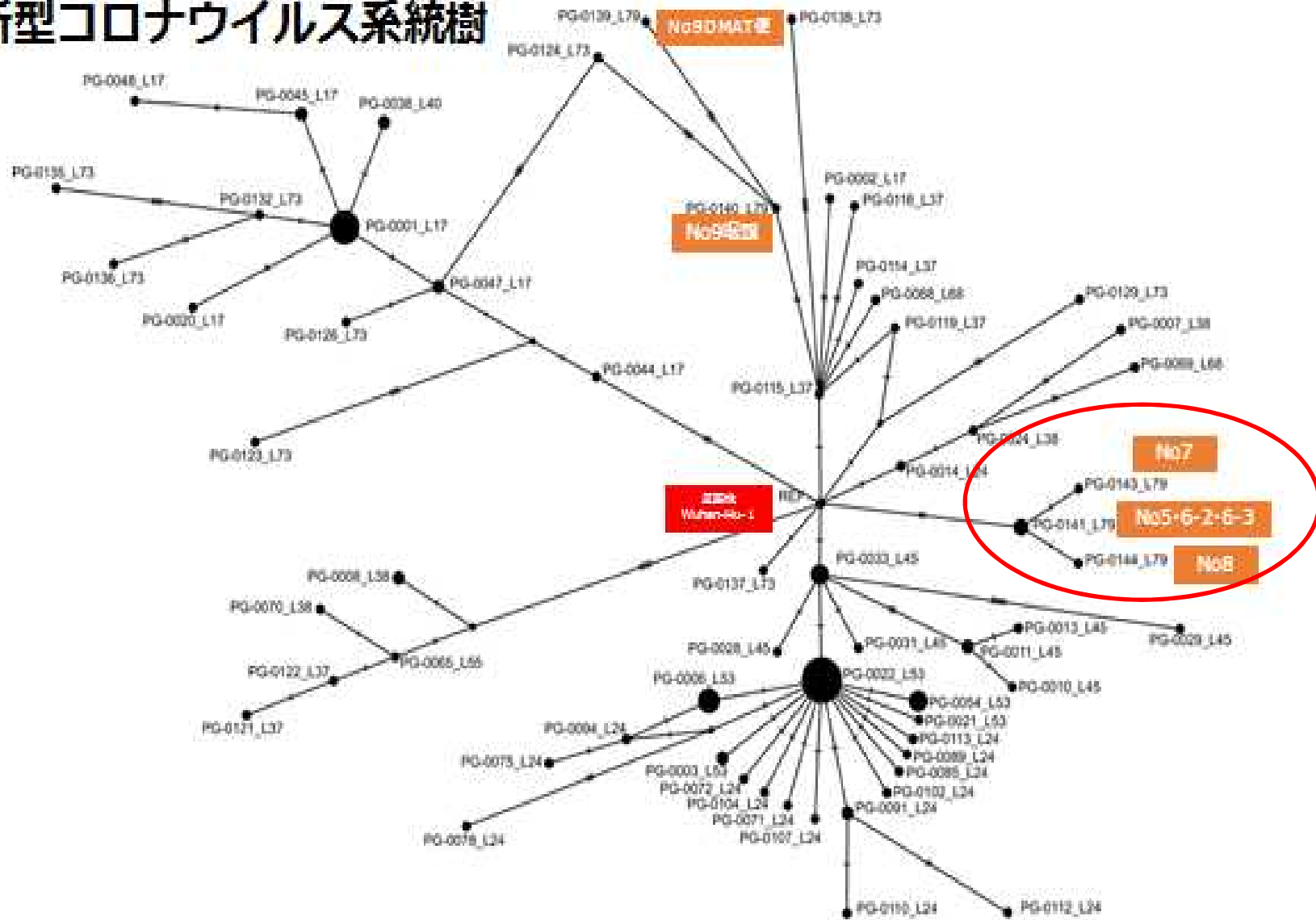
※ 番号は県の資料提供の感染者番号と同じ

※ 保存血清または後日採血にて検査に協力いただいたもの

※ ★2の2は、無症状で経過した10代男性。 ★30の1は、無症状で経過した50代の男性

取扱注意

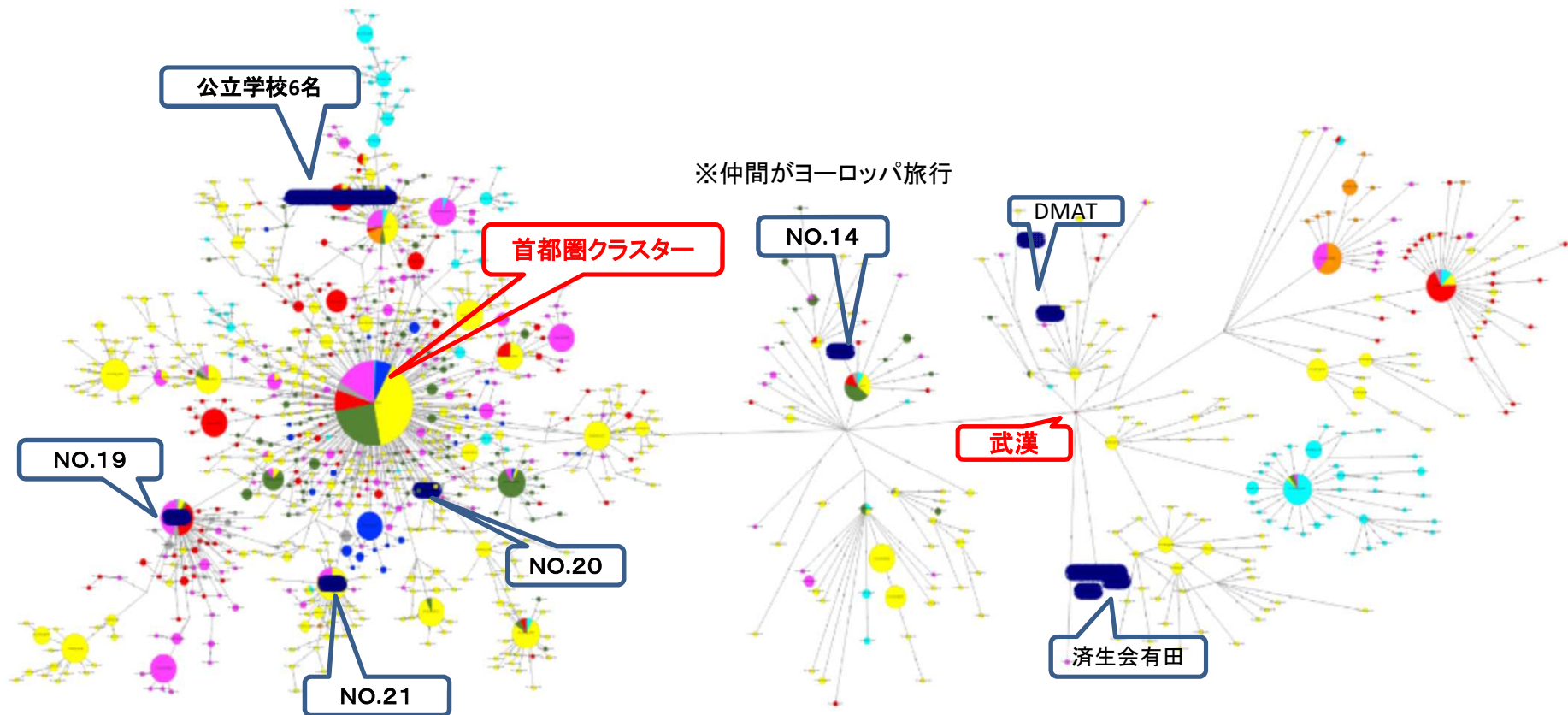
新型コロナウイルス系統樹



国立感染症研究所提供

新型コロナウイルス系統樹

取扱注意



● 北海道	北海道
● 東北	青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県
● 関東	新潟県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県
● 北陸・信州	富山県、石川県、福井県、長野県
● 中部	愛知県、岐阜県、三重県
● 関西	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
● 中国・四国	岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県
● 九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

国立感染症研究所提供

学校再開後の出席停止基準及び臨時休業の目安

①児童生徒等または教職員が陽性等と判明した場合の出席停止基準

陽性と判明	治癒した後、14日を経過するまで出席等を停止
濃厚接触者と判明	感染者との最終接触日を0日として14日間出席等を停止

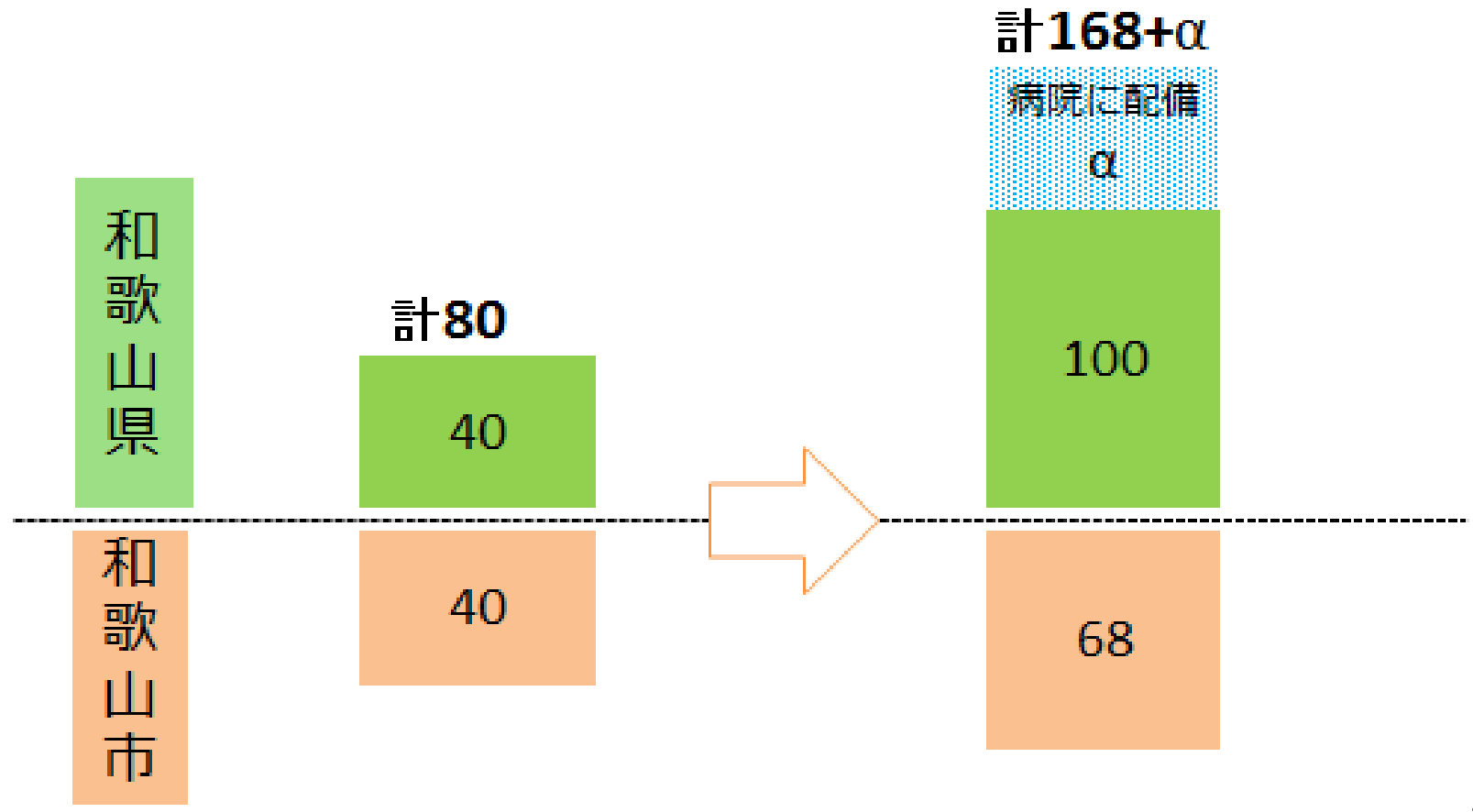
②臨時休業の目安

感染状況	臨時休業の対象
・学校内で感染者が発生し、濃厚接触者が学級または学年内に限定される場合	当該学級または学年
・学校内で感染者が複数名発生し、校内で感染した可能性がある場合	当該学校
・地域内の複数校において、複数名の感染者が発生した場合	地域内のすべての学校
・県の基準を超えて感染が広がった場合	県内のすべての学校

※ 臨時休業の期間は、原則、最終感染者確認後14日間

今後のPCR検査について

PCR検査体制（一日の通常検体数）



※ α ：県が9病院に配備する予定。1病院20検体/日は可能

今後の入院体制について



今後の健康観察の体制強化

